



The 恵中

自らを磨き 豊かに生きる
～優しく 強く 伸びやかに～

＊今年度の重点

「自己調整能力を育み、自ら学びをマネジメントする生徒の育成」

～ふるさとを想い、未来を生きる人づくりを目指して～

学校ホームページ <http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0120004> 写真：文化発表会 合唱



～文化発表会 参観ありがとうございました～

先日行われた文化発表会には、たくさんの保護者の皆様、地域の方々にお越しいただき、本当にありがとうございました。皆様からの温かい拍手や「みんなの成長に感動しました」といったお言葉は、生徒たちにとって何よりの力となりました。

◎心をひとつに響かせた合唱コンクール

先輩たちの伝統を引き継ぎ、どのクラスも一生懸命練習に励んだ合唱コンクール。パート練習では「どうしたらもっと声がそろうかな」と話し合ったり、時には意見がぶつかったりしながらも、仲間と一緒に声を合わせる楽しさを学んでいきました。本番では緊張しながらも、誇らしげな表情で歌い上げる姿がとても印象的でした。体育館いっぱいに美しいハーモニーが広がり、歌いきった生徒たちの表情には大きな達成感が満ちあふれていました。会場から送られた温かい拍手は、きっと生徒たちの心に深く残ったはずです。

◎日常の学びが花開いた展示・発表

教科や部活動の個性あふれる展示、想いのこもった生活体験文や英語スピーチコンテストの発表、そして迫力ある吹奏楽部の演奏など、生徒一人ひとりの学びの成果もたくさんの方にご覧いただくことができました。真剣な眼差しで作品を見つめたり、耳を傾けたりしてくださる皆様の姿が、生徒たちの大きな励みになりました。

◎これからも地域とともに

皆様の温かいまなざしに包まれて、生徒たちは大きな達成感と自信を得ることができました。これからも地域の皆様とともに、挑戦を優しく応援できる学校でありたいと考えています。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

合唱コンクール受賞学級

金賞

- 1年1組「心の瞳」
2年2組「時の旅人」
3年1組「群青」

銀賞

- 3組「地球星歌」
4組「時を越えて」
2組「花を探す少女」



～吹奏楽部定期演奏会～

10月11日（日）、本校体育館にて吹奏楽部による「第31回定期演奏会」を開催いたしました。当日はたくさんの保護者の皆様や地域の皆様にご来場いただき、会場は終始温かい拍手に包まれました。

◎3年生の想いがつまった集大成の演奏

3年生にとっては、これまでの集大成となる最後の舞台です。これまで支えてくれた家族や仲間、地域の皆様への感謝の気持ちを胸に、一人ひとりが想いを込めて全力で音を響かせる姿がとても印象的でした。

◎仲間とともに作り上げた賑やかなステージ

3年生有志、男女バレー部をはじめとする仲間たちが駆けつけ、ステージを賑やかに盛り上げてくれました。部活動の枠を超えて力を合わせた演奏会は、生徒たちにとってかけがえのない思い出となりました。

ご来場いただいた皆様、そして日頃より吹奏楽部の活

動を温かく見守

り支えてくださっ

ている皆様に、感

謝申し上げます。



第2回いじめアンケート結果

9月に実施した「いじめアンケート」では、9件のいじめを認知し、生徒たちの気持ちに配慮しながら丁寧な対応を進めております。また、アンケートの結果から、いじめはいけないことだと分かっている、「心配をかけたくない」「上手く言えない」と一人で抱え込んでしまう生徒たちがいることが伺えます。本校では、生徒たちが「困ったときは助けを求めていいんだ」「話を聞いてくれる大人がいる」と実感できるよう、日頃のコミュニケーションを大切に、SOSを出せる雰囲気づくりを進めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の様子で気になられた際は、いつでも学校へご相談ください。また「味方は、たくさんいるよ」というメッセージをご家庭でもお伝えいただけますと幸いです。また、各相談窓口は右記の二次元コードからご確認ください。



主な相談窓口



恵庭市教育委員会教育支援課

日	曜	11月
1	日	
2	月	教育相談⑤
3	火	文化の日
4	水	
5	木	代議専門委員会（生徒総会確認）
6	金	参観日②、学年・学級懇談会（全学年・6組） 進路説明会（3学年）
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	後期生徒総会
11	水	学力テスト（総合C） 学力テスト（1・2学年 第3回）
12	木	2年生 救命講習（3・4校時） 朝学習後期中間①（1・2学年）
13	金	朝学習後期中間②（1・2学年）
14	土	
15	日	石P連研究大会（北広島市）
16	月	朝学習後期中間③（1・2学年）
17	火	ヤングケアラー講座（2学年） 朝学習後期中間④（1・2学年）
18	水	朝学習後期中間⑤（1・2学年）
19	木	後期中間テスト（1・2学年） 新入学保護者説明会（6組）
20	金	恵）学校課題研究発表会（恵北中）
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	草の根教育実習①（3名） ブックトーク3-1
26	木	諸費納入日 草の根教育実習②（3名） ブックトーク3-2 子どもの意見反映推進事業（1学年）
27	金	草の根教育実習③（3名） ブックトーク3-3
28	土	
29	日	
30	月	三者懇談① 冬休み図書貸し出し（～12/25）

12月の主な予定

- 1日～4日 三者懇談②～⑤
- 5日 土曜授業、1日防災学校
- 11日 冬のフリー参観日
- 17日 後期期末テスト（3年）
- 25日 全校集会
- 26日 冬季休業（～1/13）

※裏面に全国学力・学習状況調査の結果を掲載

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果と分析

令和8年4月23日に3学年で実施した全国学力・学習状況等調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。生徒への個人票は返却済みであり、今後の本校の授業改善に役立てていくと同時に、家庭では、お子様の学習を進めるうえでの参考にさせていただきたいと思います。



正答率が高い	正答率が低い	分析
国語 全国平均と比べ、ほぼ同程度である		
・助動詞の働きについて理解している。 ・単語の活用（ら抜き言葉）について理解している。 ・必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。 ・表現の効果を考えて描写することができる。	・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ・文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる。	・「助動詞の働き」「ら抜き言葉」など、言葉の特徴や使い方に関する事項に関する問題は80%近い正答率だった。 ・評価の観点「知識・技能」の問題の正答数は例年高い傾向にあるが、今年度は「知識・技能」が全道・全国平均を下回り、「思考・判断・表現」の問題の正答率が全道・全国平均を超える結果であった。 ・選択式の問題形式では正答率が高く出ているものの、短答式、記述式の問題形式の正答率が低い傾向にある。
数学 全国平均に比べ、やや上回る		
・具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができる。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えている。 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。 ・箱ひげ図と四分位数の対応について理解している。	・数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 ・具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができる。 ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができる。	・「数と式」領域で比較的高い正答率を示しているが、同類項の意味など、基本的な知識が定着していない生徒も多くいる。 ・例年、「思考・判断・表現」の問題の正答率が課題であるが、「知識・技能」「思考・判断・表現」の問題で正答率が全道・全国平均を超える結果であった。 ・特に、「数学的に説明する」「特徴をもとに傾向を説明する」といった記述式の問題は無回答率も高く、正答率も低い。
英語		
・日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる。 ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。	・社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。	・英語の読む、書く、聞く、話すの4技能のうち、読むこと、聞くことの技能に関して高い正答率を示していた。 ・書くことについては正答率が低く、知識を活用して表現することが苦手な生徒が多い傾向にある。このことは、国語、数学の結果との関連性も考えられる。

【「生徒質問」の結果について】

ここでは全80項目の質問のうち、現在の恵庭中学校にとって指導上参考となりそうな項目をピックアップしています。

全国平均と比べ、数値が高い（肯定的）傾向	全国平均と比べ、数値が低い（否定的）傾向
・1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 ・自分には、よいところがあると思いますか。 ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ・人が困っているときは、進んで助けていますか。 ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。 ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。 ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 ・普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等(以下、「スマートフォン等」)で SNS や動画視聴などをしますか(スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く)。 ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

【今年度の調査結果から】本校生徒のさらなる「成長」のために

学校で取り組んでいくこと	ご家庭に協力いただきたいこと
「思考力、判断力、表現力等」を育成 学びで得た「知識及び技能」を「思考力、判断力、表現力等」に生かしていくことが本校の継続した課題です。授業で ICT を活用したり、対話を重視した授業を実践していくことで、思考が深まり、他者への表現力が身に付いていきます。 自らの学びをマネジメントする 「何を学び、何をできるようにするか」を明確にします。TT や習熟度別少人数指導、放課後学習等できめ細やかに学びをサポートするとともに、生成AI を学習のパートナーとして、主体的に学びに向かう生徒の育成を目指していきます。 SOS の出し方に関する教育の充実 担任、学年部スタッフ、養護教諭やスクールカウンセラーなど、学校ワンチームで生徒の悩みを受け止める体制を作ります。また、学校としての対策方針や相談窓口などの周知も徹底します。	「授業」と「家庭学習」のサイクルづくり 授業では、次回の授業までに取り組むべき課題が提示されます。それが次の授業につながり、より理解を深めるために家庭での学習時間を確保するという「授業と家庭学習の循環」ができあがります。家庭での学習の進捗状況確認や見守り、前向きな声かけがお子さんを主体的に学びに向かわせることにつながります。 基本的生活習慣の改善 学習習慣や生活習慣は、ご家庭の協力なしに改善することはありません。お子さんが学校に通い、元気に生活するためのエネルギーをしっかりと蓄えることが大切です。また、関連してスマートフォン・SNS の不適切使用やゲームのやりすぎは事件・トラブル防止の観点からも、保護者の皆様の責任の下で、管理を徹底していただくよう、お願いします。